

全国統一要求（抜粋）

1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
3. 過積載復活させるな



発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町 4-7-2
電話 03(3360)8021
毎月25日発行
1部 50円

第42次ゼネコン本社要請 建設産別対策委員会が実施



使用促進措置の徹底と直工費単価の支払いを求めました（3月7日前田建設工業）



トラック・ダンプデモをおこない市内で25春闘アピールしました（4月20日）

各社回答

元請は指導事項を遵守し 直工費をダンプへ支払え

全国ダンプ

建設産別対策委員会は3月6日（木）～7日（金）、の要求項目にもとづき交渉を実施しました。第42次ゼネコン本社要請行動を実施しました。今、全国ダンプ部会は、①12条団体等の使用促進措置は、「鹿島建設、大成建設、清水建設、大林組、竹中工務店、熊谷組、前田建設工業、フジタ」の計8社です。『国民の安全・安心を確保し、働きがいのある建設産業をめざして』と題し、各業種部会

建設産別対策委員会は、第42次ゼネコン本社要請行動を3月7日～8日に開催し、「鹿島建設、大成建設、清水建設、大林組、竹中工務店、熊谷組、前田建設工業、フジタ」の8社へ訪問しました。全国ダンプ部会からは、昆部会長、横坂副部会長、廣瀬事務局長、武田幹事、森谷顧問が参加しました。問が参加しました。全国ダンプ部会の中心要求である「使用促進措置の徹底」についての各社の回答は、「各支店に周知徹底し、各現場で対応しています」（前田建設工業）、「建交労からの要請の主旨を理解し、各支店・関係部署と相談し、実施している」（熊谷組）と回答。各現場へ

の要請行動を展開する中で影響が広がっています。また「直工費分の単価支払い」については、部会からは、13年連続で公共工事設計労務単価の引き上げや昨年の通常国会で成立した「建設業法改正」（標準労務費の設定、違反事業者への勧告・公表）を示し、常用積算単価にもとづ

く直工費分の単価支払いを元請の責任でダンプへ支払うよう要請しました。その他、「建設発生土対策の強化」については、「不法盛土、不法投棄」の報道記事を取り上げて、建設業界全体の課題であり、最終処分場まで元請が管理責任を負う法制化の必要との回答でした。

東北ダンプ・秋田 春闘決起・単価改善 車両パレードを実施

東北ダンプ支部・秋田分会は、4月20日（日）に秋田県本部が開催した「第25回トラック・ダンプデモ」に参加しました。全体では約20名が参加しました。

出発集会では秋田県本部の佐藤執行委員長が主催者あいさつをおこない、県労連の伊藤ちひろ事務局長、日本共産党の加賀屋千鶴子県議会議員から来賓あいさつをいただきました。続いて決意表明を秋田運送支部の高階さんと東北ダンプ支部秋田分会の加藤さんがおこない、集会決議を採択しました。

全員で団結頑張ろうを三唱して集会の終了後にトラック7台、ダンプ3台が車両デモをおこないました。秋田駅まで約1時間かけて市民に2025年春闘や燃料・物価高騰対策の実施、消費税減税・インボイス廃止をアピールしました。

地元紙の秋田魁新報としんぶん赤旗が取材に来て、後日報道されました。

実態と歴史を踏まえた 行政指導の徹底求める

全国ダンプ

自家用ダンプについて 国交省貨流課と懇談会

全国ダンプ部会は5月8日（木）、国土交通省貨物流通事業課トラック事業適正化対策室との懇談を実施しました。全国ダンプ部会から廣瀬事務局長、森谷顧問が出席。国交省は「秋山課長補佐、堤係長、藤沢係員」が応対しました。

森谷顧問から「自家用ダンプの使用をめぐる歴史と経過として、「全ト協ダンプトラック部会」の白ナンバー排除通達（今年3月14日付・後日修正）を紹介し、旧運輸省が示した自家用ダンプについて

の見解（ケースバイケース、労働者性の確認）と「ダンプ規制法」の適正な運用と遵守されてきた経過を伝えました。その根拠として政府が昭和53年（1978年）に実態調査をおこない公表した「ダンプカーによる交通事故防止対策懇談会」の中で、一人一車（代車制度）の就労実態（労働者性の程度、売買契約、運送契約との差異）を認めると共に当時の労基法及び道路運送法（現・貨物運送事業法）の適用については困難であり、事業者としての零細性を認識

していたが、ダンプ規制法（昭和42年制定）の運用を今日まで継続し、自家用ダンプの使用を認めてきたのであり、全ト協のような敵視（白排除）する姿勢は行政指導との関係でも許されないと話しました。そして、自家用ダンプの使用を巡る誤った見解が広まると無理やり営業ナンバーを付けて仕事をせざるを得なくなり、「大阪万博工事で摘発されたように名義貸し行為」が横行すると伝えました。

堤係長は、「4月に着任したばかりなので、ダンプの実



国交省貨物流通事業課との懇談を実施しました。（5月8日東京・国土交通省）

料金を検索

※ひとりでも入れる組合☆

あなたも全国ダンプの仲間

建設労とは、全日本建設交通一般労働組合の略称で国連NGOの承認団体です。北海道から沖縄まで47都府県に組織のある全国組織で、1人でも加入できる個人加盟の労働組合です。

全国ダンプは、毎年、国、県に対し、ダンプの諸要求改善で要請しています。私たちは、定額積載で食べていける賃金をめざし、早稲改善の運動、公共工事の使用促進（現場説明指導文書で全国ダンプ使用促進）、白ナンバー排除運動（ダンプ持ち込み労働は違法法の禁止規定に該当せず）などに取り組んでいます。

継続し生活を守ろう

一人の力は小さくても、団結すれば要求と権利は大きく前進します。あなたも組合に加入しましょう。

ホームページ 建設労全国ダンプ部会

あなたの加入を
まっています

建設労とは、全日本建設交通一般労働組合の略称で国連NGOの承認団体です。北海道から沖縄まで47都府県に組織のある全国組織で、1人でも加入できる個人加盟の労働組合です。

全国ダンプは、毎年、国、県に対し、ダンプの諸要求改善で要請しています。私たちは、定額積載で食べていける賃金をめざし、早稲改善の運動、公共工事の使用促進（現場説明指導文書で全国ダンプ使用促進）、白ナンバー排除運動（ダンプ持ち込み労働は違法法の禁止規定に該当せず）などに取り組んでいます。

継続し生活を守ろう

一人の力は小さくても、団結すれば要求と権利は大きく前進します。あなたも組合に加入しましょう。

ホームページ 建設労全国ダンプ部会

建設労とは、全日本建設交通一般労働組合の略称で国連NGOの承認団体です。北海道から沖縄まで47都府県に組織のある全国組織で、1人でも加入できる個人加盟の労働組合です。

全国ダンプは、毎年、国、県に対し、ダンプの諸要求改善で要請しています。私たちは、定額積載で食べていける賃金をめざし、早稲改善の運動、公共工事の使用促進（現場説明指導文書で全国ダンプ使用促進）、白ナンバー排除運動（ダンプ持ち込み労働は違法法の禁止規定に該当せず）などに取り組んでいます。

継続し生活を守ろう

一人の力は小さくても、団結すれば要求と権利は大きく前進します。あなたも組合に加入しましょう。

ホームページ 建設労全国ダンプ部会

国の保険 労災加入で仕事も家族も安心

安い掛金で大きな補償 安心して働ける

労働保険とは、労働者に対する、労働災害に備えるための制度です。国が行っている保険です。加入すると、労働者が労働災害に遭った場合、補償が受けられます。

休業補償も支給 治療費全額タダ 遺族年金が支給 傷害一時金支給

加入のメリット・注意

- 保険加入は、組合が労災手続を全て代行します。
- 保険期間は、4月1日から翌年3月まで、保険料は掛捨てです。
- 有給は、保険料を納付して、組合が手続した翌日からです。
- 住居に入る時、労災加入証明書を発行できます。
- 保険料の納入は、組合として一括払いです。（3割分割可）

公共工事は労災保険加入が義務付け

相談ごと・各種申請は組合員の立場で一総に解決

税金学習 法律相談 労災申請 不払い等補償

建設労とは、全日本建設交通一般労働組合の略称で国連NGOの承認団体です。北海道から沖縄まで47都府県に組織のある全国組織で、1人でも加入できる個人加盟の労働組合です。

全国ダンプは、毎年、国、県に対し、ダンプの諸要求改善で要請しています。私たちは、定額積載で食べていける賃金をめざし、早稲改善の運動、公共工事の使用促進（現場説明指導文書で全国ダンプ使用促進）、白ナンバー排除運動（ダンプ持ち込み労働は違法法の禁止規定に該当せず）などに取り組んでいます。

継続し生活を守ろう

一人の力は小さくても、団結すれば要求と権利は大きく前進します。あなたも組合に加入しましょう。

ホームページ 建設労全国ダンプ部会

徳島ダンプ支部が作成した拡大用のハガキ・チラシ

態についての話は大変勉強になりました。今後も意見交換の場を設けていただきたいと思っています」と話しました。

廣瀬事務局長から、すでにマスコミ報道もされているが、「貨物自動車運送事業法の一部改正」新法（荷主の白トラ使用禁止等）が議員立法での国会提出が準備されていることを紹介し、「今後、自家用ダンプの使用について現場での誤解と混乱が生じる可能性がある。法案が出されたらダンプの対応について、申し入れをする予定である」と伝えました。

ハガキチラシを作成し
拡大対象者へDM送付

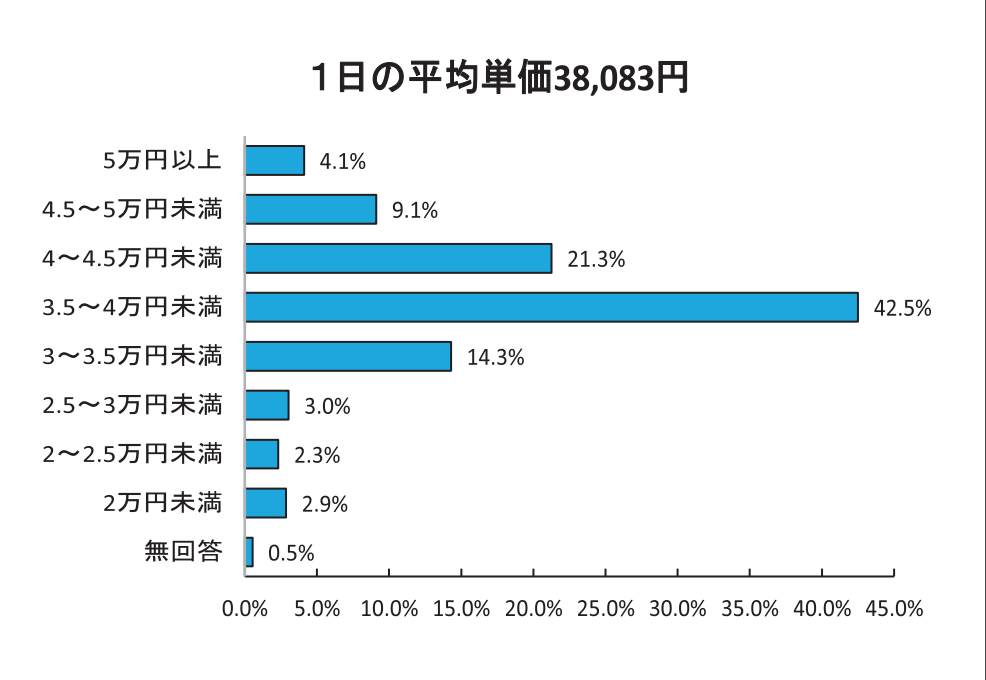
徳島ダンプ支部は、組合員拡大に向けてハガキチラシを3月に作成しました。

事前に四国運輸局を通じて「香川、愛媛、徳島」に登録している自家用ダンプの名簿を取り寄せました。その後、徳島県34名、香川県15名について、ハガキチラシとしてDMを送付しました。

支部では部会総会後、労災保険加入の要求で4名の仲間が加入しています。四国地域は仕事が少ない状況で新規にダンプを始める方もわずかにとどまっています。

また地域では営業ナンバーの登録が増えていることもあるので、自家用ダンプ排除反対の取り組みやダンプキャリアバン活動の実績も紹介しています。

全国ダンプ ダンプ要求アンケート 全国で560人を集約



全国平均の常用単価は38,083円。各地で単価改善闘争を展開しよう

昨年1年間（2024年）の仕事の状況について、北海道から沖縄まで全国の仲間560人からアンケートを集めましたので結果を一部紹介します。第32回全国キャリアバンパンフにグラフで掲載します。